

# 目 次

「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、  
該当ページまで移動します。

<a href="#">出席委員</a> . . . . .	2
<a href="#">臨時委員長</a> . . . . .	4
<a href="#">予算審査特別委員長の選挙</a> . . . . .	4
<a href="#">予算審査特別委員会副委員長の選挙</a> . . . . .	5
<a href="#">財務課の予算審査</a> . . . . .	6
<a href="#">政策課の予算審査</a> . . . . .	14
<a href="#">総務課の予算審査</a> . . . . .	26
<a href="#">総括質疑及び現地調査箇所を選定</a> . . . . .	30

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。  
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場  
合があります。

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

平成31年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第1号）

平成31年3月6日（水曜日）

出席議員（1名）

議長 櫻井正人君

出席委員（17名）

委員長 鈴木忠美君

副委員長 木村範雄君

委員 伊藤司君

西澤文久君

小淵洋一郎君

土村秀俊君

高久時男君

永野涉君

渡辺幹雄君

及川智善君

鈴木晴子君

後藤哲君

安田知己君

吉岡伸二郎君

伊勢英昭君

遠藤紀子君

郷右近隆夫君

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

副町長

伊藤三男君

財務課

課長

高橋三喜夫君

財政経営班長

後藤仁君

財政経営班主任主査

鈴木崇裕君

財政経営班主査

庄司正博君

財政経営班主査

畠中邦博君

管財契約班長

鈴木喜宏君

管財契約班主幹

大和田浩史君

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

政策課

課	長	櫻井昭彦	君
政策班	長	鎌田功紀	君
政策班	主任主査	洞口育子	君
政策班	主査	浅野智寛	君
政策班	主査	櫻井貴徳	君
地域協働班	長	郷右近啓一	君
地域協働班	主幹	石垣伴彦	君
地域協働班	主査	平塚智美	君

総務課

課	長	折笠浩幸	君
総務管理班	長兼		
人事法令班	長	嶋正美	君
総務管理班	主幹	千葉友弥	君
人事法令班	主幹	小野寺厚人	君
人事法令班	主査	小野寺裕子	君

---

事務局職員出席者

事務局	長	鈴木則昭	君
主	幹	土屋俊介	君
主任	主査	利玲子	君
主	事	伊藤卓弥	君

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

午後1時57分 開 会

○議会事務局長（鈴木則昭君） それでは、予算審査特別委員会を開催いたします。

初めての委員会ですので、利府町議会委員会条例第7条第2項の規定により、**年長の郷右近隆夫委員に臨時の委員長をお願いいたします。**郷右近委員、よろしくお願いいたします。

〔臨時委員長 郷右近隆夫君 登壇〕

○臨時委員長（郷右近隆夫君） 私が郷右近隆夫でございます。規定によって、臨時に委員長の職務を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

ただいまから予算審査特別委員会を開会します。

本日の会議を開きます。

ただいまの出席委員は17名です。

これより**予算審査特別委員長の選挙**を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思えます。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（郷右近隆夫君） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、臨時委員長が指名することにしたいと思えます。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（郷右近隆夫君） 異議なしと認めます。

したがって、臨時委員長が指名することに決定しました。

委員長に鈴木忠美君を指名します。

お諮りします。ただいま指名しました鈴木忠美君を委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（郷右近隆夫君） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました鈴木忠美君が委員長に当選されました。

ただいま委員長に当選された鈴木忠美君が議場におられます。会議規則第131条第2項の規定によって当選の告知をします。

委員長と交代します。

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

〔委員長 鈴木忠美君 登壇〕

○委員長（鈴木忠美君） ただいま予算審査特別委員長に選出されました鈴木忠美です。

委員各位の特段の御理解と御協力を賜り、委員会の円滑な運営に努めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、これより**予算審査特別委員会の副委員長の選挙**を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、委員長が指名することにしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。

したがって、委員長が指名することに決定しました。

副委員長に木村範雄君を指名します。

お諮りします。ただいま指名しました木村範雄君を副委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました木村範雄君が副委員長に当選されました。

ただいま副委員長に当選された木村範雄君が議場におられます。会議規則第31条第2項の規定によって当選の告知をします。

次に、審査日程についてお諮りします。

審査日程については、お配りしました審査日程表により進めたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。

したがって、審査日程については、お配りしました審査日程表のとおり進めてまいります。

ここで暫時休憩します。再開は14時10分とします。

午後2時02分 休憩

午後2時08分 再開

○委員長（鈴木忠美君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査に入る前に申し上げます。質疑に当たっては1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には質疑が一巡した後にお願いします。また、質疑の際はわかりやすく簡潔にお願いします。さらに、質疑が重複しないようできるだけ関連質疑で対応するようお願いいたします。

それでは、審査日程表により財務課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、財務課長より本日出席している説明員を紹介願います。財務課長。

○財務課長（高橋三喜夫君） 皆様、お疲れさまでございます。それでは、財務課の本日出席しております職員を御紹介申し上げます。

初めに、財政経営班の職員から御紹介申し上げます。

隣が財政経営班長の後藤 仁でございます。（「後藤です。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、主任主査の鈴木崇裕でございます。（「鈴木でございます。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、主査の庄司正博でございます。（「庄司でございます。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、主査の畠中邦博でございます。（「畠中です。よろしく願いいたします」の声あり）

続きまして、管財契約班の職員を御紹介申し上げます。

管財契約班長の鈴木喜宏でございます。（「鈴木です。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、主幹の大和田浩史でございます。（「大和田です。よろしく願いいたします」の声あり）

最後に、私、財務課長の高橋三喜夫でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 次に、所管事項の内容の説明をお願いします。財務課長。

○財務課長（高橋三喜夫君） それでは、平成31年度利府町一般会計予算の概要を御説明申し上げます。

初めに、薄いほうの冊子を御用意ください。利府町各種会計予算をごらんください。

まず、1ページをお開き願います。

第1条歳入歳出予算の総額でございますが、平成31年度は128億4,000万円となり、前年度と

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

比較いたしまして12億7,000万円、11.0%の増となっております。主な要因といたしましては、文化複合施設整備事業の進捗に伴いまして増額となっております。後ほど予算説明書により御説明を申し上げます。

8ページをお開き願います。

第2表債務負担行為でございますが、記載しております11件の事業につきまして設定するものでございます。1件目の財務課の自動車賃貸借事業につきましては、平成31年中に賃貸借期間が満了いたします交通安全指導車が契約から14年経過し、経年劣化によりふぐあいが出てきていることから、安全性を考慮して新たな車両に切りかえるものでございます。なお、リース期間は平成31年8月から38年7月までの7年間を予定してございます。以下、記載しております10件につきましては、予算特別委員会におきまして所管する各課長から御説明申し上げます。

次に、10ページの第3表地方債でございますが、記載しておりますように9件の事業で17億4,350万円の起債を予定しております。

まず、1件目の都市再生整備計画事業につきましては、文化複合施設の整備に伴う新太子堂地区都市再生整備計画事業に充当するため借り入れるものでございます。2件目の地域総合整備資金貸付事業につきましては、ふるさと融資制度の活用によりしらかし台工業団地にございます株式会社三和食品仙台工場の増設移転への貸付事業に充当するため借り入れるものでございます。3件目の災害援護資金貸付金につきましては、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づきまして、被災した方々に対して貸し付けを行う原資を宮城県から借り入れるものでございます。4件目の農林水産業施設整備事業につきましては、菅谷字東谷地内水路改修事業に充当するものでございます。5件目の観光施設整備事業につきましては、コミュニティーセンターのトイレの改修事業に充当するものでございます。6件目の道路整備事業につきましては、利府駅前広場整備事業を初めまして6件の道路整備事業に充当するものでございます。7件目の公共施設等適正管理推進事業につきましては、町道舗装長寿命化事業に充当するものでございます。8件目の学校教育施設等整備事業につきましては、しらかし台小学校及びしらかし台中学校のプールの改修事業に充当するため借り入れるものでございます。9件目の臨時財政対策債につきましては、平成31年度における発行可能額を前年同様5億円と見込んでおります。

次に、歳入歳出予算の主な概要を御説明いたします。厚いほうの利府町各種会計予算説明書①一般会計、こちらでございますけれども、御用意願います。

1ページをお開きください。

歳入の総括でございますが、前年度と比較して増減の大きいものについて御説明いたします。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

1 款の町税につきましては、新中道等の宅地造成による固定資産税の増が見られたことから、前年度比2,362万円、0.5%の増となっております。

11 款地方交付税につきましては、震災復興事業の進捗により震災復興特別交付税が前年比1億4,500円の減を見込んでおります。さらに、補正予算におきまして特別交付税を3,000万円ほど減額してございます。当初予算におきましても同額を減額し、全体で前年対比1億7,500万円、16.1%の減を見ております。

15 款国庫支出金につきましては、文化複合施設整備事業に係ります新太子堂地区都市再生整備計画事業交付金の増や小規模保育施設及び特定教育施設等がふえたことによる保育所運営費負担金の増、新規事業といたしまして利府駅前広場整備事業及び消費税の引き上げに伴います低所得者や子育て世帯支援のプレミアム付き商品券事業の負担金などの増により、前年度比3億3,057万9,000円、20.1%の増となっております。

16 款県支出金につきましては、国庫支出金同様、保育所運営費負担金の増及び参議院議員選挙、宮城県議会議員選挙委託金などの増によりまして前年度比8,716万2,000円、11.2%の増となっております。

18 款寄附金につきましては、ふるさと納税の平成30年度実績見込みに加えまして、さらなる拡大を図るため寄附額を前年度比で6,000万円の増の8,000万円としております。

19 款繰入金につきましては、復興事業の増加に伴う東日本大震災復興交付金基金繰入金や財政調整基金等の繰り入れの増によりまして、前年度比で2億8,217万5,000円、34.4%の増となっております。

2 ページをお開きください。

21 款諸収入につきましては、低所得者・子育て世帯主向けプレミアム付き商品券販売代金の増により1億185万円、24.7%の増となっております。

22 款の地方債につきましては、先ほど第3表地方債で申し上げたように9件の事業に充当するもので、前年比5億5,180万円、46.3%の増となっております。

続きまして歳出の総額でございますが、3 ページをごらんください。

平成31年度におきましても、前年度に引き続きまして復興事業の着実な推進と各種防災、減災対策事業を初めまして少子高齢化に伴う各種事業や公共施設の老朽化に伴う修繕事業、そして文化複合施設整備事業など町民の皆様には幸せを実感していただけるよう、今後の町の将来を見据えた諸施策の展開に予算の重点配分を行っております。

前年度と比較して増減が大きい項目でございますが、2 款総務費につきましては、東日本大



## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

震災復興交付金事業や文化複合施設建設事業の事業費の増加及びふるさと融資などに伴いまして前年度比12億7,399万9,000円、66.4%の増となっております。

3款民生費につきましては、小規模保育施設及び特定教育施設等がふえたことによる保育所運営費負担金の増及び低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付き商品券事業の増に伴いまして、前年度比5億5,786万9,000円、14.7%の増となっております。

6款農林水産業費につきましては、浜田地区の防潮堤整備事業や須賀地区の水門整備事業の進捗に伴いまして、前年度比2億471万2,000円、36.4%の減となっております。

8款土木費につきましては、中央公園野球場グラウンド改修事業の完成に伴いまして、前年度比2億6,683万円、23.9%の減となっております。

10款教育費につきましては、利府小学校校舎建替え事業の進捗に伴いまして1億1,199万5,000円、8.2%の減となっております。

次に、134ページをお開きください。

継続費の状況でございますが、現在、設定しております文化複合施設整備事業、須賀地区漁業集落防災機能強化促進事業、利府小学校校舎建替え事業について記載のとおり進行状況となっております。

次に、135ページから152ページまでは、現在設定しております171件の債務負担行為の支出額及び支出予定額を記載しております。また、152ページから153ページまでは、本議会補正予算で提案した事業及び平成31年度当初予算で設定しております事業について記載をしております。

次に、最終ページの154ページをお開きください。

地方債の残高でございますが、左から3番目の欄、前年度末現在高見込額、平成30年度末でございますけれども、135億5,480万1,000円となる見込みでございます。平成31年度起債見込額から元利償還金見込額を差し引きますと5億8,328万8,000円の増となりまして、平成31年度末残高は141億3,808万9,000円となる見込みでございます。

なお、一般会計予算の概要につきましては、別にお配りしております当初予算関係補足説明資料の1ページから8ページにも記載しておりますので、御確認をお願いいたします。

そのほか、各予算の計上内容の詳細につきましては、予算特別委員会におきまして関係各課より説明を申し上げます。

以上が平成31年度一般会計予算の概要でございます。

続きまして、財務課所管の内容につきまして御説明申し上げます。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

利府町各種会計予算説明書①一般会計をごらんください。

5ページをお開き願います。

2款の地方譲与税から7ページの8款自動車取得税交付金及び10款地方特例交付金につきましては、平成30年度の交付実績や宮城県の見込み額通知などから計上しております。

11款1項1目地方交付税につきましては、9億1,000万円で、一般会計予算の概要で御説明申し上げましたとおり、前年度より1億7,500万円、16.1%の減となっております。

8ページをお開きください。

13款1項1目1節庁舎管理負担金207万3,000円につきましては、庁舎の維持管理に要する水道事業分の負担金でございます。

9ページをごらんください。

14款1項1目1節行政財産使用料のうち庁舎等使用料の60万7,000円につきましては、庁舎等の銀行ATMや自動販売機などの設置に係ります使用料を計上しております。

同じく2節町民交流館使用料31万2,000円につきましては、町民交流館研修室の使用料を計上しております。

21ページをお開き願います。

17款1項1目1節土地建物貸付収入のうち859万5,000円につきましては、飯土井住宅跡地や旧役場庁舎プレハブ等などの貸し付けが主なものでございます。

同じく2目利子及び配当金につきましては、財政経営班で所管します財政調整基金、減災基金、公共施設整備基金、東日本大震災復興基金、ふるさと応援寄附基金の利子を計上しております。

22ページをごらんください。

18款1項1目1節一般寄附金8,000万円につきましては、町内の地域資源や観光資源を活用した返礼品の拡大を図りまして、平成30年度実績見込みを踏まえ、寄附金の増額を見込んでおります。

19款2項1目1節財政調整基金繰入金8億6,161万3,000円につきましては財源不足により繰入する財政調整基金及び公債費の償還に充当するために、計画的に繰り入れる減債基金を計上しております。

同じく3目1節公共施設整備基金繰入金1,761万2,000円につきましては、公共施設総合管理計画に基づきます学校施設等長寿命化計画策定事業及び町道整備事業に充当するものでございます。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

同じく6目1節東日本大震災復興基金繰入金168万3,000円につきましては、津波被災住宅再建支援事業及び防災備蓄事業に充当するものでございます。

同じく8目1節ふるさと応援寄附基金繰入金2,107万円につきましては、全国の皆様からの御寄附の目的に応じまして、十符の里フェスティバル事業を初め11の事業に充当するものでございます。

26ページをお開き願います。

22款1項町債につきましては、先ほど一般会計の概要で御説明した内容となっております。次に、歳出につきまして御説明申し上げます。

33ページをお開き願います。

2款1項3目財産管理費1億5,768万3,000円につきましては、役場庁舎や公用車、公有財産の維持管理に要する経費を計上しております。

35ページをお開き願います。

同じく4目財政調整基金費236万8,000円でございますが、財政調整基金と減債基金の利子の積み立てを計上しております。

同じく5目財政管理費1億6,913万円でございますが、前年度より5,978万5,000円、54.7%の増となっております。その主な要因は、ふるさと応援寄附金の推進に伴うふるさと応援寄附金支援業務委託料、それからふるさと応援寄附基金への予算積立の増によるものでございます。

38ページをお開き願います。

同じく8目町民交流館管理費12万円につきましては、役場庁舎に併設する町民交流館の維持管理に要する経費を計上してございます。

127ページをお開き願います。

12款1項公債費1目元金11億6,021万3,000円でございますが、前年度より1,858万6,000円、1.6%増となっております。その主な要因は、過去に借り入れました臨時財政対策債や大友堰改修事業等に係る元金償還が開始されたことによるものでございます。

同じく2目利子1億1,448万7,000円でございますが、平成30年度の借り入れ実績見込みや償還期間の延伸による利率見直しに伴いまして460万2,000円、3.9%の減となっております。

以上が財務課所管の予算の説明でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。17番及川委員。

○及川智善委員 それでは、こちらの表ですと①の22ページ、19款繰入金の基金繰入金の財政調

### 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

整基金の繰入金の分。それから予算説明資料の8ページになります。先ほど町長からも一般会計の説明で、歳入について見込みが余らないという余りよくない話という変な言い方ですけども、町債とかの、法人税も含めまして見込みがないというようなことで、財調の取り崩しを行っていかねばならないという方針をお聞きしました。それで、別紙の説明資料の8ページを見ますと、例えば財政調整基金でいうと30年度に年度末見込みで13億6,597万7,000円ですけれども、31年度は8億5,700万円も財調で取り崩すということで、積み立てはわずか235万9,000円、さっきも説明ありましたがこれだけなんです。年度末には5億1,000万円と今年度の半分以下になってしまうという状況なんですけれども、まず1つは先ほど町長が言われた町税の見込みがないということがどういう状況でそういうふうになっているのかということと1つ説明をお願いしたい。例えば新中道地区や神谷沢の金沢地区とか新しい土地開発等がふえまして、当然町税もふえるというふうに私は見ているんですけれども、それが町税の見込みが薄いので取り崩しを行うみたいな話はちょっとあったものですから、この辺の説明をしていただきたいというふうに思います。

○委員長（鈴木忠美君） ただいまの質疑に対し、当局答弁願います。財務課長。

○財務課長（高橋三喜夫君） 17番及川委員の御質問にお答え申し上げます。

平成31年度の財調の取り崩しが8億5,700万円ということで、年度末には5億の財調しかない。今年度末と比べるともう大分半分以下という形でございます。これらは、今年度に予定しておりますハード事業が大分多くなっていることから、文複を初めそういうものに充てるということで取り崩しをしているものでございますけれども、そのほかの収入として先ほど町税のほうで御説明いたしましたけれども、新中道で町税のほうは2,300万円ほど上がっていますよというようなお話をさせていただいております。今後も新中道を初め見込まれます開発等で、将来的には伸びてくるということは間違いないとは思いますが、平成31年度についてはまだ苦しい状態だということでの町長のお話だと思います。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） 及川委員。

○及川智善委員 ですから平成31年度を単発で見たらという話かと思うんですけれども、どうしても今回の取り崩しがあんまり大きいものですから、その見込みの、将来的に新中道に太子堂、これから開発で税収については今年度はもちろん見込みがないというか、将来的にはあるということなんですけれども、この取り崩しに関してほかの事業についてはそれぞれの所掌で事業の中身についての話なので、もちろんここで聞く話ではないんですけれども、これについてですね、基金残高に関して財政課で指針みたいな、要するにそれぞれの事業を会計で取り崩しを

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

するときは何分の1以内とか、例えばその年度の保有する金額のどれくらいかというそういう基準とか指針とかというのはお持ちではないのでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） ただいまの質疑に対し、当局答弁願います。後藤班長。

○財務課財政経営班長（後藤 仁君） それでは再質問にお答えいたします。

財政調整基金の性質につきましては財源調整、全体的な不足に充当する財源調整という性質を持ってございます。ということからですね、その年度もしくは基金の何%以内を取り崩すという決め方はございません。ただ、基金の残高といたしましては保有額といたしましては、これまでも再三申し上げていますように基準財政需要額もしくは標準財政規模の5%、10%、20%、いろいろなそれぞれの書物等々によっては違うんですが、大体標準財政規模の10%くらいを残しておくのが望ましいだろうというふうに言われているのは事実でございます。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） よろしいですか。はい。ほかに質疑ございませんか。5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 2点伺います。

34ページ、2款1項3目財産管理費の中の13節委託料なんですけれども、庁舎自家用電気工作物保安管理業務委託料と庁舎非常用自家発電設備点検業務委託料と計上されておりますが、具体的にどのような内容でしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） ただいまの質疑に対し、当局答弁願います。鈴木班長。

○財務課管財契約班長（鈴木喜宏君） 5番小淵委員の御質問にお答え申し上げます。

34ページの委託料の中の庁舎自家用電気工作物保安管理業務委託と、それから庁舎非常用自家発電設備の点検業務委託料と、この違いというようなことだと思います。まず、庁舎の自家用の電気工作物保安管理につきましては、こちらは庁舎の高圧電気関係から全ての電気設備について東北電気保安協会と今現在契約しておりますけれども、そちらの保安協会のほうで点検をしていただいているというような内容でございます。それからもう一つ、非常用の自家発電設備の点検、こちらについては非常用の自家発電機がございます。主用電源がとまったときに自家発電が起動するようになっておりますけれども、こちらの自家発電設備の点検業務ということで、これは東北電気保安協会とは別のところでの点検というような委託内容になっております。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） 5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 庁舎非常用電源、これはBCP、業務継続計画の中の非常用、いざというときに電気がなかったら困るという話なんですけれども、この点検周期と点検要領をどのように

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

やっているのか。いざといったときに電気がつかないということがあってはいけませんので、ちょっと教えてください。

○委員長（鈴木忠美君） 当局答弁願います。鈴木班長。

○財務課管財契約班長（鈴木喜宏君） 小淵委員の再質問にお答えいたします。

こちらの自家発電設備の点検につきましては、年1回、負荷試験ということで実際に負荷をかけて点検をしているというのがこの業務でございまして、基本的にはこの業務は年1回という状況になっております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） よろしいですか。（「はい」の声あり）はい。ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 質疑がありませんので、以上で財務課の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで暫時休憩します。

再開は14時50分とします。

午後2時41分 休 憩

---

午後2時49分 再 開

○委員長（鈴木忠美君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により政策課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、政策課長より本日出席している説明員を紹介願います。政策課長。

○政策課長（櫻井昭彦君） それでは、本日出席しております政策課の説明員を紹介いたします。

最初に、前列、政策班から紹介します。

政策班長の鎌田功紀です。（「鎌田功紀です。よろしく願いいたします」の声あり）

主任主査の洞口育子です。（「洞口育子です。よろしく願いいたします」の声あり）

主査の浅野智寛です。（「浅野智寛です。よろしく願いいたします」の声あり）

同じく主査の櫻井貴徳です。（「櫻井貴徳です。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、2列目、地域協働班になります。

地域協働班長の郷右近啓一です。（「郷右近啓一です。よろしく願いいたします」の声あり）

主幹の石垣伴彦です。（「石垣伴彦です。よろしく願いいたします」の声あり）

主査の平塚智美です。（「平塚智美です。よろしく願いいたします」の声あり）

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

最後に、私、政策課長の櫻井昭彦です。どうぞよろしく申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。政策課長。

○政策課長（櫻井昭彦君） それでは、政策課に係る平成31年度当初予算につきまして御説明いたします。

初めに、各種会計予算書、薄いほうの冊子、8ページをお開き願います。

第2表債務負担行為でございます。このうち2番目の総合情報システム（内部系）賃貸借事業から6番目のコミュニティセンター指定管理事業までが政策課で所管する事業で、複数年で実施したほうが効率的かつ効果的なことから、それぞれ債務負担行為を設定するものでございます。内容でございますが、総合情報システム内部系、外部系及び総合行政ネットワーク L G W A N の賃貸借事業につきましては、現在のシステムの契約期間が31年度で満了となることから、それぞれ新しいシステムとして更新するものであります。

次の大容量ファイル送受信等サービス事業につきましては、メールを送信する際のデータ流出等のさまざまなリスクが高まっていることから、より安全に大容量のデータを送受信できるサービスを利用することでセキュリティーに万全を期すためのものであります。

次のコミュニティセンター指定管理事業であります。利府駅に併設しているコミュニティーセンターの管理運営につきましては、現在指定管理制度を活用しまして民間事業者で行っておりますが、現契約が平成31年度で期間が満了となることから次年度以降の契約手続を行うため設定するものであります。

次に、各種会計予算説明書①によりまして、歳入から御説明いたします。

厚いほうの冊子の8ページをお開きください。

13款1項1目総務費負担金2節総合情報システム負担金につきましては、水道事業会計から総合情報システムの利用負担金としまして、職員数の案分により700万円を計上しております。

次に、9ページをごらんください。

14款1項1目総務使用料1節行政財産使用料のうち、コミュニティセンター使用料につきましては17万2,000円を計上しております。内容としましては、J R 利府駅の改札口の一部と自動販売機1台分の貸付使用料であります。

同じく3節まち・ひと・しごと創造ステーション使用料につきましては、地方創生事業の一環として進めております創造ステーション t s u m i k i の施設使用料として145万2,000円を計上しております。

同じく4節町民バス使用料につきましては、786万7,000円を計上しております。前年度と比

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

較しまして31万6,000円の増であります。前年度実績などから若干の増を見込んでおります。

次に、13ページをお開きください。

15款2項1目総務費国庫補助金2節地方創生推進交付金につきましては、1,208万7,000円を計上しております。先ほど御説明いたしました t s u m i k i の運営と協働のまちづくりを進めるためのまちづくり大学事業に係る国からの交付金を見込んだものであります。

同じく3節地域公共交通確保維持改善事業費補助金につきましては、159万5,000円を計上しております。前年度に引き続き、持続可能な公共交通網の整備を目的としました地域公共交通網形成計画推進事業に対する事業費補助であります。

次に、15ページをお開きください。

16款1項1目総務費県負担金1節移住支援事業費負担金につきましては、75万円を計上しております。これは、平成31年度から創設される事業で東京圏からの移住者に対して町が補助金を交付する場合の県からの負担金であります。

次に、17ページをお開きください。

16款2項1目総務費県補助金、17ページの3節バス運行維持対策費補助金につきましては、87万9,000円を計上しております。これは、町民バス2路線の運行経費に対する県からの補助金を見込んだものであります。

次に、20ページをお開きください。

16款3項1目総務費委託金6節統計調査費委託金につきましては、158万2,000円を計上しております。これは、平成31年度に実施いたします各種統計調査に伴う県からの委託金であります。

次に、21ページをごらんください。

17款1項3目1節土地開発基金運用収入につきましては、129万2,000円を計上しております。これは基金財産として管理しております2カ所の土地の貸付収入で、1つは利府駅前の用地の一部を株式会社まちづくり利府に、もう一つは都市計画道路大町線の用地の一部を役場職員駐車場会に貸し付けしているものであります。

次に、24ページをお開きください。

21款3項1目総務費貸付金元利収入1節総務費貸付金元金収入につきましては、前年度と同額の4,236万8,000円を計上しております。これは地域総合整備資金、いわゆるふるさと融資と言われるもので、これまでに貸し付けている3件分の償還金であります。貸付額は、仙塩利府病院に4億3,000万円、高齢者福祉複合施設壱ノ町に5,000万円、りふの内科クリニックに1億



## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

5,000万円をそれぞれ貸し付けしております。

次に、25ページをごらんください。

同じく4項3目雑入のうち、次の26ページになりますが、10節の雑入の中の5行目ハロウィンジャンボ宝くじ市町村交付金540万円であります。この交付金につきましては、小中学校の入学支援事業として実施しております体操着等の支給事業に充当することとしております。

次に、歳出について御説明いたします。

36ページをお開き願います。

初めに、2款1項総務管理費6目諸費につきましては、前年度と比較して199万7,000円増の4,850万5,000円を計上しております。主な内容としましては、1節の行政区長報酬、次の37ページの13節配布物等委託料及び19節地域活動事業総合交付金であります。総合交付金につきましては、平成31年度から新たに高齢者福祉事業として各地区で実施する敬老会などへの事業費補助337万円が追加されたことによりまして増額となっております。

次の7目町民活動支援費につきましては、前年度と比較して413万5,000円減の3,819万2,000円を計上しております。減額の主な理由としましては、職員人件費の減によるものです。主な内容としましては、13節委託料511万8,000円ありますが、平成29年度から実施しているまちづくり大学の業務委託料であります。

また、次の38ページの19節負担金、補助及び交付金434万円につきましては、十符の里フェスティバル事業及びまちづくり支援事業への補助金などを計上しております。十符の里フェスティバルにつきましては、宮城スタジアムの改修事業によりまして昨年度まで会場でありました円形広場が使用できないことから、開催場所を役場庁舎に変更して開催することとしております。

同じく9目コミュニティセンター管理費につきましては、前年度と比較して1,500万円増の2,015万3,000円を計上しております。増額の理由としましては、15節に町の玄関であります利府駅コミュニティセンターのトイレ改修に要する経費を計上したことによるものであります。

次に、39ページをごらんください。

13目情報政策費につきましては、前年度と比較し2,898万円増の1億8,182万7,000円を計上しております。増額の主な内容としましては、次の40ページの13節委託料の中の総合情報システムの内部系及び外部系などのシステム更新事業並びに元号改正に伴う業務委託によりまして増額となっております。

また、41ページの14節使用料及び賃借料1億176万4,000円につきましては、債務負担行為に

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

基づく総合情報システム関係の各種賃借料を計上しております。

42ページをお開きください。

14目行政改革推進費につきましては、前年度とほぼ同額の13万9,000円を計上しております。主に行政改革推進委員会委員の謝金や旅費であります。

次に、50ページをお開きください。

5項統計調査費1目統計調査総務費につきましては、前年度と同額の9万8,000円を計上しております。これは、宮城県統計協会への負担金や町の統計調査員協議会への補助金であります。

次に、2目国委託統計費につきましては、前年度と比較し30万1,000円減の157万1,000円を計上しております。これは、記載している各種統計調査を実施するための経費であります。

次のページ、51ページの6項企画費1目企画総務費につきましては、前年度と比較し2億6,837万2,000円増の3億4,604万8,000円を計上しております。増額の主な内容につきましては、次の52ページになりますが、21節貸付金に歳入でも御説明しましたふるさと融資事業貸付金として2億6,800万円を計上したことによるものであります。貸付先につきましては、しらかし台工業団地内にある三和食品が現在沢乙白石沢地内で整備が進められております仮称しらかし台インターシティ工業団地内に事業規模の拡大を目的としまして移転するための費用を貸し付けするものであります。

また、19節負担金、補助及び交付金のうち、補助金の移住支援事業につきましては、歳入でも御説明しました東京圏からのUターン、Iターン、Jターンによる移住対策として企業や就職者を創出するための制度で、1世帯当たりの限度額であります100万円を計上しております。その他の内容につきましては前年度とほぼ同様となっております。

次に、52ページの2目13節委託料3,355万5,000円ではありますが、平成29年度に策定しました利府町地域公共交通網形成計画の実現に向けまして、昨年度に引き続き支援業務委託料を計上しております。業務内容につきましては、30年度に実施しました住民意見交換会におけるアイデアや提案などを踏まえた路線の再編を進めるほか、住民ワークショップの開催などを行うこととしております。

14節使用料及び賃借料1,252万3,000円につきましては、平成31年4月に更新いたします東部路線、西部路線、2路線の新たな車両2台分の賃借料などを計上しております。

次の19節負担金、補助及び交付金につきましては、ミヤコーバスへの補助金など前年度とほぼ同額の2,271万2,000円を計上しております。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

次に、3目国際交流費につきましては、利府町国際交流協会への補助金など前年度とほぼ同額の27万8,000円を計上しております。

最後に、4目復興推進費のうち政策課関係でございますが、次の54ページ13節委託料に浜田・須賀地区振興プラン調査業務委託料を計上しております。内容につきましては、同地区の漁業、観光、定住などについて将来像を検討しながら復興プランの策定を行うための調査費であります。

以上が政策課に係る当初予算の説明であります。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 2点お伺いいたします。

まず、こちらの説明書のほうで38ページ、この補助金で十符の里フェスティバルの補助金があります。30年度がたしか300万円の補助金だったと思いますが、今回100万円ふえております。役場庁舎の大きな舞台のあるこの広場を中心にやるというお話でしたが、この100万円ふえた理由をまずお願いいたします。

それからもう1点は51ページですね、こちらの2款総務費の企画費の中で報酬として総合計画審議会委員の報酬が出ております。この総合計画審議会委員の人数及び何回くらいの会議を予定しているのかをお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） ただいまの質疑に対し、当局の答弁をお願いします。それでは郷右近班長。

○政策課地域協働班長（郷右近啓一君） 14番遠藤委員の御質問にお答え申し上げます。

まず、1点目のフェスティバルの予算補助金の額でございます。昨年はそれまで活用充当しておりましたふるさと創生基金が廃止となったために当初予算では300万円を計上し、6月補正におきまして追加させていただいたと。それに加えてオートテストの分をあわせて30年度、最終的な補助額は550万円になっております。今年度については400万円の補助金の額ということを見せていただいておりますので、よろしく申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 続いて鎌田班長。

○政策課政策班長（鎌田功紀君） 14番遠藤委員の御質問にお答えいたします。

総合計画審議会の委員構成につきましては、15名ほどで予定をしております。年内の開催1回を見込んで計上させていただいております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 14番遠藤委員。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

○遠藤紀子委員 十符の里フェスティバルですが、会場が想像でいきますと随分縮小されるのではないかと思いますし、オートテスト等々も不可能ではないかと想像いたしますが、やはり補助金の額400万円というのは適正であるとお考えでしょうか。その辺の補助金の目安みたいなものをお願いいたします。実施時期は例年どおり10月くらいを予定されているのかも伺いたします。

それから、総合計画の審議会の委員は15名というお話でした。どのような構成の方を選ぶのか、それから女性の委員は何名いらっしゃるのかをお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） ただいまの質疑に対して、当局答弁願います。それでは郷右近班長。

○政策課地域協働班長（郷右近啓一君） 14番遠藤委員の再質問にお答え申し上げます。

まず、補助金400万円の額について適正かという御質問でございますが、こちらにつきまして従前まで500万円の補助を例年やっております、そこからの実質100万円の減ということになります。平成31年度につきましては開催場所を利府町役場のほうに移しますので、オートテストの同時開催、あとスポーツ交流フェスティバル、これまで同時にやっておりましたが、その同時開催もなしということで、フェスティバルと環境まるごとフェアの2本立てで開催するという計画でございます。

額のほうでございますが、まずステージが既存の役場のステージ、駐車場のところにあるステージを使いますので、その分の減を考えておりますが、場所がいかんせんコンパクトになるものですから、これまで頂戴していた協賛金のほうの額が大体500万円くらい頂戴しておったんですが、それに賛同していただけるかどうかというところもありますので、まず400万円の補助金、あとは従前どおりのものを見越しておりますが、規模的には縮小して実施するというところで考えてございます。

実施の時期についてでございますが、平成31年度につきましては7月に参議院議員選挙、8月から9月にかけて町議会議会議員選挙と10月に県議会の選挙が予定されておりました、当課のほうも選挙事務の従事がございますので、期日前から当日準備ということもありますので、できる時期になると9月中旬が濃厚ではないかというところで現在調整を進めているところでございますので、よろしく申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 続いて、鎌田班長。

○政策課政策班長（鎌田功紀君） それでは、遠藤委員の再質問にお答えいたします。

総合計画審議会の構成メンバーにつきましては、前回の計画策定した際にも同じように審議会を設置して計画を練ってきたということがございます。そちらのほうも参考にしながらです

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

ね、学識経験者、前回は大学教授、宮城大学の教授などにもお願いをしたということもあります。今回もそういった方々も含めて町内の各関係機関からの代表であるとか、あるいは一般公募も含めてこれからその辺を選定をしていきたいというふうに考えております。

また、男女の比率等についても、例えば女団連の代表さんなども前回は入れておりますし、あと一般公募のほうでも女性の委員の目というか、そういう形でもバランスのよいようなそういう委員構成をにらんで設置してまいりたいと考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 十符の里フェスティバルのほうは今度縮小して役場の広場を使うという非常にタイトなもので、なかなか大変だと思いますが、町民が喜んでいただけるようなフェスティバルをぜひ計画していただきたいと思います。

2点目の総合計画の審議会の委員ですけれども、前回は踏襲するような形でという返答がございましたが、なるべくこの町を担っていく10年間の総合計画ですので、宮城大の先生にお願いするような案もございましたが、ぜひ利府町に住む学生たちの声がぜひ入りますように、自分たちがこの10年間でこの町を担っていくという気持ちにさせていただくためにも、ぜひその点を十分に考慮してなるべく肩書きはなしで、そういったものを選んでいただきたい、新しいまちづくりをしていただきたいという趣旨からもぜひ若い人の声をたくさん入れていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 鎌田班長。

○政策課政策班長（鎌田功紀君） 再々質問にお答えいたします。

その若い人たちの声をということでございますが、今回の策定に当たっては総合計画審議会、これはこれで設置をしていくと。その他にそういった若い人からお年寄りまでを含めて、仮称ですけれども未来づくり会議というような形でワークショップなども取り入れながら、より多くの方々にその策定にかかわっていただくというようなことで計画をさせていただいております。これからはこれについても公募をして多くの皆さんに応募いただきながら、そういった学生の声、我々も今宮城大学、あと福祉大のほうとも連携協定を結んでおります。そういったその学生などにも呼びかけをしながら、より多くの声を反映して策定してまいりたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。2番鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 1点お願いします。

54ページをお願いします。2款6項4目復興推進費でございますが、13節の委託料で1,600万

### 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

円ということだったんですけれども、委託料2つ計上されておりますが、金額的な部分でどの程度の割合であるのか。振興プランのほうの金額がどれくらいの割合で計上しているのか、先ほど少し説明がありましたが詳しい内容をお伺いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 当局の答弁願います。櫻井課長。

○政策課長（櫻井昭彦君） それでは、2番鈴木委員にお答えいたします。

最初の金額、どの程度かということなんですけれども、委員御承知のようにこれから入札に付しますので、安易に予定価格が想像できることのないようにちょっと記載しています。ただ、この13節1,600万円のうちのかなりの部分をこの復興プランが占めております。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） それでは鎌田班長。

○政策課政策班長（鎌田功紀君） 鈴木委員の質問にお答えいたします。

内容についてでございますけれども、課長の先ほどの説明であったように、この復興プラン案につきましては復興交付金を活用して100%の交付金というような形でプランを作っていくものとしております。浜田・須賀地区、御承知のとおり高齢化、あと子供たちも減っていったり人口減少というようなことで限界集落化している状況にあるということで、今復興のハード事業については一定のめどがついているものの、これからもっともっと先の将来を見据えてこの地区をどういうふうにしていこうということで、その辺を地域住民の皆さんと一緒に計画を作っていこうかなと思っております。浜田・須賀地区については、今復興交流センターなどのプラン立てもしておりますが、そういったものも活用しながら、あるいはその移住定住、そういったものについても、これからそのてこ入れをしていかなければならないなというふうに思っております。観光面、それからその地区のブランド化を図りながら交流人口をふやしていこうということでございます。

財源については、今100%と申し上げましたけれども、復興交付金の効果促進事業が8割、あと2割については、その復興特交ということで措置されるもので、合わせて100%ということで、今復興庁のほうとも協議を進めておまして、ほぼいけるだろうということで認定をいただけるんじゃないかなというふうに考えております。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） 2番鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 内容は大体わかりましたが1,600万円、結構な金額だと思うんですけれども、内容的にはそうするとコンサルティング会社が入って行うものなのか、浜田、須賀、それぞれの地域の住民の方がいらっしゃると思うんですけれども、別々にそれぞれやっているのか、それ

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

ともまとめて話を伺うのかということをお伺いします。

○委員長（鈴木忠美君） 鎌田班長。

○政策課政策班長（鎌田功紀君） 再質問にお答えいたします。

このプラン立てについては、一部業務をコンサル会社のほうにも委託をする予定で今考えております。そちらのほうも今回予定としてはプロポーザル方式で業者を選定し、そのいろいろな有識者のアドバイスなどもいただきながら、そのコンサルのほうにはファシリテーター役ですとか、そういったコーディネート、あといろいろなアドバイスなどもいただくと。あるいはその地区住民の方々とその勉強会を10回ほど、そのワークショップ形式で重ねながら、場合によってはその県外のそういった同じような地区で同じような活性化策に取り組んでいるところの視察なども踏まえながら、この計画をつくっていかうというふうに考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 2番鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 話を聞いていると少し漠然とした感じがするので、町としてどのような方向性で、観光がメインなのか、それとも地域住民の方の思いを酌んでいくのか、どちらが強いものなのかちょっとお伺いしたいと思います。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井課長。

○政策課長（櫻井昭彦君） 鈴木委員の再々質問にお答えします。

町としましては先ほども御説明したとおり浜田・須賀地区、高齢化が顕著に進んでおまして、定住化も進んでいないということで、あの地区を何とか活性化させるということに方向性を置いております。そういった面で将来に向けてどういうふうな施策を講じたらいいか、例えば観光であったり、漁業の振興であったり定住であったり、それらのあらゆる面からいろいろな将来像を検討していきたいというふうな考えでございます。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 1点のみ伺います。

53ページ、2款6項2目総合交通対策費の19節負担金、補助金及び交付金のところのバスの運行2,270万8,000円というふうに計上されておりますが、これはミヤコーバスの葉山路線ということでよろしいでしょうか。それともほかの路線も含まれているのかお答え願います。

○委員長（鈴木忠美君） 当局、答弁願います。平塚主査。

○政策課地域協働班主査（平塚智美君） 5番小淵委員の御質問にお答えします。

本補助金は葉山路線以外に利府線、菅谷青葉台線を見込んでおります。以上です。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

○委員長（鈴木忠美君） よろしいですか。ほかに。7番木村委員。

○木村範雄委員 38ページ、9目コミュニティーセンターの分の15節工事請負費で、やっとトイレ改修の予算が出せました。この前ちょっとコミュニティーセンターに行ったときに、なんか雨漏りがひどいんだよね、雨漏りがあるんだという話と、今回コミュニティーセンターの管理委託は続けてやりますよということだったので、あのままやはりやっていくんだというときに、トイレ改修を今回計上されたので引き続き雨漏り対策とか十分にやっっていかなきゃならないのかなと。どうしてもこれ、駅前整備をして、駅前整備をこれから計画出されておりますので、一般の駐車場の待機所が3台くらいしかなくなると。今現在だって8台から10台くらいだよ、待機できるようになっているんですけども、それがもうぐっと狭まったことによってコミュニティーセンター自体の利用の形状も変わるのかなというふうに思っています。その点で今考えていることをぜひお知らせいただきたいというふうに思います。

2点目は、53ページの委託料で地域公共交通網形成計画推進事業資源業務委託料ということで、ちょっと内容の話を説明していただきたいというのと、この前各町内会に行って説明会の中で話を聞いてきました。どうしてもやはり朝夕の子供たちが利用する分は本当に大きなバスが必要なんですけれども、昼間部になると本当にバスじゃなくてタクシーというか、四、五人乗りでも十分なのかなという意見がね、大分利用者の関係から出されているのを聞かせていただきました。ちょっとその辺で今回、今後の取り組み方としてやはりそういう方向に行くのかなと思いますけれども、今考えているところをお知らせいただきたいと思います。

○委員長（鈴木忠美君） 当局、答弁願います。郷右近班長。

○政策課地域協働班長（郷右近啓一君） 7番木村委員の御質問にお答え申し上げます。

まず1点目、コミュニティーセンター、トイレ以外の改修についてということでございます。一応町の顔、玄関口でございます利府駅、オリンピックを控えておりますので、現在外壁等の修理についてJRのほうと協議を進めているところでありまして、まずオリンピックまでに利府町分だけ修理するというわけにいかないの、JRさんと足並みをそろえる意味で現在協議調整をおこなっていると。もし、その調整が調いましたら補正予算等々でお示しをして御審議をいただきたいなというふうに考えてございます。

それと、将来的な考え方ということでございます。今回木村委員さんのお話にあったように駅前広場の整備ということで、ミヤコーバスの駐車場3台と町民バスのバス停ということで、今までなかったものをちょっと整備していただいて、交通結節点としての機能強化を図っていくというところまで考えてございます。そこを含めた駅前の整備等につきましては、現在あり



## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

ますりふレ横丁とか t s u m i k i、コミュニティーセンターの将来的な用途も含めて、今後検討が必要だということで認識しておりますので、文化複合施設等々類似施設の整備にあわせて町として検討してまいりたいというふうに考えております。

2点目。公共交通関係の維持関係の委託料の内訳でございます。これにつきましては、ことし素案をまとめて住民意見交換会をさせていただきました。その中でも皆さんからのアイデア、あとは御意見を頂戴しておりますので、そういったものを反映して来年詳細の編成路線をつくる。その中で木村委員さんから御質問のあったように車両の小型化、あとは今まで何回も申し上げてきたとおり路線の長大化というのが問題になっておりますので、3路線化も踏まえて引き続き31年度で検討していくということになりますので、よろしく申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 7番木村委員。

○木村範雄委員 53ページの地域公共交通網だけに絞って2回目させていただきたいと思います。

どうしてもやはり今のミヤコーバスであったり町民バス、形が決まったやつでやろうとすると一番多い人員のところの大きさに合わせてしまうというところに一番の欠点になってしまうのかなど。やはり時間帯に応じてやはり車の形を小さくするような形でやればいいんですけども、そうするとその運転士の関係も含めてどうしていくんだという部分がね、私たちもなかなか出せないで、ぜひその分のやつを検討していくべきだと。その方向でやはりデマンドとかも含めて検討していったらいいかと思うんですけども、いかがでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 郷右近班長。

○政策課地域協働班長（郷右近啓一君） 7番木村委員の再質問にお答え申し上げます。

今御質問あったとおりですね、もちろん需要にあった車両導入というのが一番望ましい形でございますが、どうしても宮城交通であれば朝多くの人数を運んできた車両がほかの地区に回る、その繰り返しでございますので、うまいぐあいに小型の車両にそこで乗りかえて利府に持ってくるということができない現状もあるということを御理解いただいた上で、町としてはその需要に見合った公共交通、あとは計画のほうでもうたっておりますが段階的に移行のルールというのを設けておまして、需要があるものについては路線バス、町民バス、そこから需要がない場合についてはデマンド乗り合いタクシーとか、その選択肢を引き続き検討していきますので御理解のほうをお願いしたいと思います。

○委員長（鈴木忠美君） よろしいでしょうか。（「関連」の声あり）関連で10番高久委員。

○高久時男委員 この地域公共交通網形成計画、2年目に入るんですけども、今この支援業務

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

委託ということで予算計上をしているんですけども、今の説明だと素案を求めて意見交換会で意見を聴取して、それに向けて路線再編ということの説明でした。この業務委託、業者にするとするんですけども、具体的な業務委託の内容ってどういう内容ですか。

○委員長（鈴木忠美君） 当局答弁。郷右近班長。

○政策課地域協働班長（郷右近啓一君） 10番高久委員の御質問にお答え申し上げます。

先ほどの木村委員さんの御質問でもお答え申し上げましたとおり、今、路線をただ図面上に置いているだけでございますが、31年度におきましては実際にその路線をどこにバス停を置いて、どの時刻でダイヤで走らせていくか、そのJRとの結節、あとは岩切駅とかですね、あと民間バスとの重複がないような形での調整という実質ダイヤ編成までの必要がございますので、そういった部分の業務委託を行うということになります。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 質疑がありませんので、以上で政策課の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで暫時休憩します。再開は15時40分とします。

午後3時35分 休憩

---

午後3時40分 再開

○委員長（鈴木忠美君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

14番遠藤紀子委員が通院のため中途退席をしております。

審査日程により総務課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、総務課長より本日出席している説明員を紹介願います。総務課長。

○総務課長（折笠浩幸君） お疲れさまです。それでは、本日出席をしている総務課の職員を紹介いたします。

初めに、総務管理班長兼人事法令班長の嶋 正美でございます。（「嶋です。よろしく願いします」の声あり）

次に、総務管理班主幹の千葉友弥でございます。（「千葉です。どうぞよろしく願いします」の声あり）

次に、人事法令班主幹の小野寺厚人でございます。（「小野寺です。よろしく願いします」の声あり）

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

次に、同じく人事法令班主査の小野寺裕子でございます。（「小野寺です。よろしくお願いいたします」の声あり）

最後に、私、総務課長の折笠浩幸でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。総務課長。

○総務課長（折笠浩幸君） それでは、平成31年度利府町一般会計予算における総務課の所管事業について、利府町各種会計予算説明書①に基づきまして御説明申し上げます。

説明に当たりましては、主な内容、そして前年度と違う点を中心に説明させていただきます。

初めに、歳入予算の主な内容について説明いたします。

20ページをお開きください。

16款3項1目総務費委託金でございますが、このうち3節県政だより配布委託金66万3,000円につきましては、2カ月に1回発行される県政だよりの配布に係る委託金であり、前年度と同額での計上しております。

26ページをお願いいたします。

21款4項3目雑入のうち10節雑入であります。この説明の中で上から2行目、宮城県市町村振興協会研修助成金43万5,000円。そして、次の行、宮城県町村会研修助成金50万円につきましては、いずれも職員が参加した研修の費用について、その一部が助成されるものでございます。

次の非常勤職員等雇用保険料32万8,000円につきましては、非常勤職員等の雇用保険の個人負担分を町で一旦受け入れまして、公費負担分とあわせて一括で支払っているというものでございます。

1行飛びまして、広告事業収入77万のうちですね、その他所管分として町のホームページにおけるバナー広告料、10社分を見込んでおりまして36万円を計上しております。また、封筒などの広告料として15万2,000円を計上しております。

続きまして、歳出予算の主な内容につきまして説明いたします。

29ページをお願いいたします。

2款1項1目一般管理費に計上しております総務課の事業内容といたしましては、人事管理業務を初め職員研修、福利厚生、法令業務、文書発送、秘書業務、そして広報紙発行等に要する経費となっております。

前年度と比較しますと、583万6,000円の減となっており、2億5,753万7,000円を計上しております。減額となった主な理由としましては、災害派遣職員及び臨時職員等の人数の減などに

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

よるものでございます。

1節報酬553万7,000円の内訳につきましては、ここに記載しているとおり産業医2名分、こちらは内科と精神科の医師となります。非常勤職員5名分の内訳につきましては、庁舎総合案内3名分と障害者雇用としての2名分となっております。そのほかは記載の委員等となっております。

2節給料8,553万2,000円であります。前年度と比較すると1,174万2,000円の増となっております。これは、一般職におきまして25名分の計上としておりますが、前年度の20名に対し5名増での計上としているというところで増額となっているものでございます。ここにはですね、総務課職員のほか配属先がまだ決定していない4月1日付の新規採用職員7名分、また新規での再任用職員4名分、こちらを含んで計上しているというものでございます。

31ページをお願いいたします。

7節賃金996万3,000円につきましては、前年度と比較すると446万7,000円の減となっております。これはですね、前年度21名に対し17名の計上としているものでございます。この17名の内訳としましては育児休暇の代替職員、この分が6名分、あと窓口や税の申告時期等の業務繁忙時期における事務補助等の臨時職員、こちらが11名分の計上をしているというものでございます。なお、臨時職員の単価につきましては、これまで1時間当たり800円としていたものを830円へと改定をおこなっているというものでございます。

11節需用費でございますが、前年度と比較しますと156万円の減となっております。これは印刷製本費として計上している広報紙、こちらの入札結果による計上というものでございます。

13節委託料でございますが、ここでは職員健康診断業務や職員研修のほか、各種業務委託料を計上しており、前年度とほぼ同様の内容となっております。

32ページをお願いいたします。

19節負担金、補助及び交付金でございますが、前年度と比較しますと1,831万6,000円の減となっております。これは、前年度においては復興事業における宮城県からの任期付き職員、こちらの派遣に関する人件費としての負担金、こちらを計上していたということによる減でございます。

ページ飛びまして、42ページをお願いいたします。

15目東京オリンピック推進費でございますが、621万7,000円を計上しております。平成31年度は東京2020オリンピックの開催まで1年前となるということから、さまざまなイベントが開催される予定となっているほか、周辺対策などの調整等も本格化されてまいります。また、4

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

月からは、宮城県における都市ボランティアの募集が開始される予定となっていることから、オリンピックに向けた機運醸成が今後さらに高まってくるものと思っており、これらを見込んでの予算を計上しているという内容でございます。

9節旅費でございますが、東京都や組織委員会において開催地の自治体に対する輸送計画、周辺対策、聖火リレー等の説明会、また調整会議等がふえるということが予想されますので、これらを見込んでの予算を計上しているという内容でございます。

11節需用費につきましては、町内を初めとした各種イベント時に配布する啓発グッズ、そしてクリアファイルやキーホルダー等を購入するというものでございます。

13節委託料でございますが、キックオフイベントとありますが、これは1年前イベントということで予定されているものでございます。主催は宮城県となっておりますが、宮城県では県内のホストタウンの登録を行っている市町村、また開催地である本町に対しまして共同での主催、または共催という形で参画要請を検討しているというところで、そういった対応の予算を計上しているというところなんです。こういったことからこのキックオフイベントに小学生等の参加要請といったものも考えられるというところで、その輸送にかかる委託料、また利府町のブースを初めとした町全体の機運醸成を図るための各種イベント、こちらについての企画運営の業務について、その費用を計上しているというものでございます。

次の都市装飾作成設置業務につきましては、平成30年度においても横断幕やのぼり旗等を作成し、役場庁舎や野球場のほうに設置しております。平成31年度においては利府駅前やほかの公共施設等にも設置し、機運醸成を図るということとしているものでございます。

以上が総務課にかかわる平成31年度の予算概要であります。御審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（鈴木忠美君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 1点のみ。

42ページ、15目の東京オリンピック推進費のところの今説明のあったところなんですけれども、委託料のキックオフイベント業務委託料、それから都市装飾作成設置業務委託料と計上されておりますけれども、これは先ほどの説明の中で県との共催というような形で言われておりますけれども、主体は利府町ということによろしいわけですか。

○委員長（鈴木忠美君） 主幹。

○総務課総務管理班主幹（千葉友弥君） それでは、5番小淵委員の御質問にお答えします。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

今は宮城県がまず主催ということで、宮城県のほうが計画しているというところにはなるんですけども、利府町のほうも一緒に主催として入っていただけないか、あとはまた、先ほど課長から説明させていただいたとおり共催という形でということも県のほうでは考えておりました、まだそこは調整をしているところでございます。以上になります。

○委員長（鈴木忠美君） 5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 ということは、具体的には今現在構想はないということによろしいわけですか。

○委員長（鈴木忠美君） 千葉主幹。

○総務課総務管理班主幹（千葉友弥君） 再質問にお答えいたします。

今現在ですね、1年前イベントですので、東京の開会式の1年前、7月24日なんですけれども、その近辺で宮城県のほうと調整は進めているんですけども、場所あとは規模、そういったものに関してはまだまだこれから考えていかなきゃいけないところが多くありますので、特にこれだという決まったところはまだございません。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） よろしいですか。ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 質疑がありませんので、以上で総務課の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査箇所の選定を行います。

質疑あるいは御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 総括質疑及び現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会します。

なお、あすは午前9時30分から特別委員会を再開しますので御参集願います。

御苦労さまでした。

午後3時56分 散 会

上記会議の経過は、事務局長鈴木則昭が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するためここに署名する。

平成31年3月6日

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日水曜日分）

臨時委員長

委員長